

# 教育会館り だよ



No. 74

発行日  
2023年4月1日  
発行人  
早坂 淳史

【題字】  
館盛 静光  
(元相模原市長)

目次

- 1 ページ  
理事長のあいさつ
- 2・3 ページ  
2022年度事業報告
- 4 ページ  
2023年度事業計画

発行 一般財団法人相模原教育会館 〒252-0236 相模原市中央区富士見6-6-13 ☎042(758)2190  
<http://www.sagamiharakyouikukaikan.or.jp/>



理事長 早坂 淳史

## 次代を担う児童・生徒が、自然・人との ふれあいを通じて、思いやりのある 心豊かな人間として育つために

皆様には日頃より相模原教育会館事業にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルスへの対応について、政府は3月13日からマスクの着用を推奨をやめ、個人の判断に委ねることとなりました。教育会館においては、高齢者の利用も多いことから、引き続き「会話時のマスクの着用」「来館時の手指消毒」等の感染対策にご協力をお願いいたします。

相模原教育会館は、「ふれあい」

をキーワードに多くの事業を展開してきました。事情や立場が異なる人も含め、情緒的につながりを形勢し、相模原教育会館の設立趣意書にある「次代を担う児童・生徒が、自然・人とのふれあいを通じて、思いやりのある心豊かな人間として育つ」ことをめざしてきました。2022年度は、3年ぶりに「ふれあい映画」「ふれあいカルチャー」を実施することができました。「ふれあい映画」では、子どもたちが期待に胸を膨らませて始まるのを待っていたり、「ふれあいカルチャー」では様々な実験の結果などに驚きを隠せず楽しんでいたりする様子が見られました。

生活様式や価値観の多様化にもない家族形態や共同体としての地域のあり方が変化するとともに、ICT機器の進化や普及により、人間や自然・動植物との直接的なふれあいの機会の減少が危惧されます。実体験から得られる学



親と子のふれあいカルチャー教室のひとこま

びや感動は、現代社会においても子どもたちの健やか成長のためには必要であり、そのような機会を残していくことは、大人の責務と考えます。

そうした観点からもふくめ、相模原教育会館の設立目的である県央・県北地域の教育・文化の振興と教職員の教養、福利厚生の上をめざして、さらに多くの方々にご利用いただけるよう職員一同、精一杯努力して参ります。

今後もより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

一般財団法人相模原教育会館

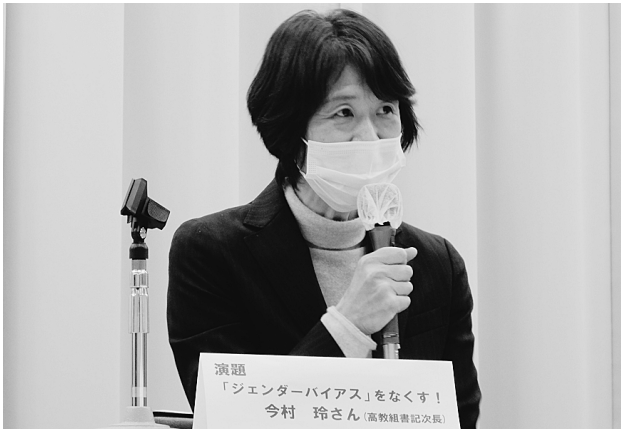
理事長 早坂 淳史

## ●2022年度事業報告

### ●人権・解放教育研修会

「子どもの権利条約」や「無意識の偏見の影響」について学ぶ

6月15日、「第1回人権・解放教育研修会」をWeb開催しました。「こどもの権利条約」とこども基本法」をテーマに、石綿一樹さん（神奈川県教職員組合書記次長）が講演を行いました。「こどもの権利条約」の批准から30年ほど経た現在も貧困、虐待、孤立などすべての子どもたちの育ちが保障されているとは言えない状況下での



「こどもの権利条約」について再確認し、「こども基本法（仮称）」が求められるようになった経緯について学習を深めました。

参加者からは、「学校では、子どもたちのためにも思っていることが押しつけになっていることも多々あることに気づかされた」「学校のルールと子どもの人権を大切にするこの両立を図るには、まだまだ課題が見られる」「こども基本法が制定されると、子どもたちもより安心して過ごせると思う」「校則というのは、大人目線で作られたものがほとんどだと思っただ」「大人の権利と同じように、子どもの権利も大切にしていきたい」等の感想がありました。

1月25日、「第2回人権・解放教育研修会 自立と共生をめざす教育研修会」を湘北地区教職員組合協議会女性部との共催でWeb開催しました。

「『ジェンダー・バイアス』をなくす！」をテーマに、今村玲さん（神奈川県高等学校教職員組合書記次長）が講演を行いました。ジェンダーに関する日本の現状や働く女性の現状、ジェンダー・バ

イアスの弊害等について、色々な資料をもとに分かりやすく解説していただき、無意識の偏見の影響について学習しました。

参加者からは、「ジェンダーフリーの意識が、諸外国と比べて低く驚いた」「子どもたちへの言葉がけに気をつけていきたい」「無意識の偏見が、女性管理職率の低さ等、ダイバーシティ推進の阻害要因の一つとなっていることがよくわかった」「個人を縛る社会の中の偏見をなくし、だれもが自分らしさを発揮して生きていける社会になるといいと思った」「子どもたちのジェンダー・バイアスをなくすためには、大人の考え方を変えていかなくはないけない」等、ジェンダーフリーを意識し差別をなくしていきたいという声が多く寄せられました。

### ●親と子のふれあい映画会 映画「オープン・シーズン」を 4会場で上映

子どもたちの夏休み期間に合わせて、4会場（相模原教育会館・荻野運動公園会議室・津久井中央公民館・海老名文化会館）で親子のふれあい映画会を開催しました。消毒や来場者の健康状態の把

握等、感染防止対策を行い3年ぶりの実施となりました。来場した子どもたちにはお菓子のプレゼントもありました。

上映した「オープン・シーズン」は、ペットのブーグの成長とベスとの家族愛を描く、涙あふれる物語です。

参加者からは、「ペットのクマが、最後に自然が自分の家と気づいたところに感動した」「友だちや家族は大事だと思った」「仲間と絆を作り上げていく姿が印象に残った」「幼児も最後まで楽しめる内容だった」等の声が寄せられました。



●親と子のふれあいカルチャー教室  
「体験！南極ブリザード」を  
テーマに様々な実験

7月27日、「アインシユタイン  
ラボ」から講師を迎え、理科実験  
教室を開催しました。消毒や来場  
者の健康状態の把握等、感染防止  
対策を行い3年ぶりの実施となり  
ました。



「体験！南極ブリザード」とい  
うテーマで、液体窒素を使って  
様々な実験をしました。南極を再  
現する化学実験を行い、温度によ  
って劇的に姿を変える水の様子に  
ついて楽しみながら学びました。  
参加者からは、「幼児から大人ま

で、学びながら楽しめた」「空気  
が冷えると水のようになってから  
雲になるのが不思議だった」「白い  
雲は、空気が冷えてできるのだと  
見て驚いた」等の声がありました。

●教育文化講演会  
学校の多忙化にどう向き合うか  
子どもたちと教職員のウェル  
ビーイングを高める

2月15日、「教育文化講演会」  
がハイブリッド開催され、109  
人の参加がありました。今年度  
は、妹尾昌俊さん（教育研究家・  
学校業務改善アドバイザー）を招  
き「働き方改革や業務改善」の実  
態・好事例について講演がありま  
した。

講演の冒頭では、小中学校の教  
員の休憩時間について、それぞれ  
6分、8分であることや、小学校  
教員の41%が不眠症との診断され  
ることが2016年の教育勤務実  
態調査で明らかになったことが紹  
介されていました。教職員の精神  
疾患患者数が依然と高く、特に20代  
30代の長期療養者の割合が高いこ  
とにふれ、教職員のウェルビーイ  
ング（心身ともに良好な状態）を  
高めることにより、学校の教育力  
の向上や子どもへのケア、ウェルビ

ーイングにも良い影響を与えると  
の話がありました。

参加者からは「今のやり方が  
唯一絶対のやり方ではない。柔軟  
に楽しく考えていきたい」という  
言葉が心に残った」「自分を大切  
にする働き方を模索していこうと  
いう意欲がわいた」「働き方改革  
は、願っているだけではなく、個  
人の努力や学校単位でのとりくみ  
が重要であることに気付かされ  
た」「事務的な仕事を学校から減  
らそうという働き方改革ではな  
く、自己犠牲の精神を改めようと  
いう意識改革が必要というお話に  
勇気もらった」等の声が寄せら  
れました。



相模原教育会館の会議室や  
和室を利用してみませんか？

(一財)相模原教育会館は、300人以上  
が入れる大会議室や詩吟等の練習がで  
きる和室まで、各種様々な部屋を貸し  
出しています。ぜひ、ご利用ください。

室名	定員	料金
小会議室(1)	机使用30名	1時間 650円
小会議室(2)	机使用30名	1時間 650円
小会議室(3)	机使用30名	1時間 650円
小会議室(1)(2)は合わせて1室(机使用60名)として利用できます。		
和室	座卓使用18名	1時間 650円
大会議室(1)	机使用 120名	椅子のみ 180名
大会議室(2)	机使用 120名	椅子のみ 180名
大会議室(1)(2)は合わせて1室(机使用240名 椅子のみ使用360名)として利用できます。		
控室	机使用10名	1時間 350円

(※控室は単独での貸出をしていません。)

●地域に根ざす教育・文化の振興に寄与するために

2023年度一般財団法人・相模原教育会館事業計画

1. 教育文化振興事業

(1) 親と子のふれあい映画会  
・時期および場所  
7月下旬～8月中旬  
津久井中央公民館  
愛川町文化会館  
ハーモニーホール座間  
相模原教育会館

・内容  
映画上映  
(自然や動物と人とのふれあいをテーマにした作品)

(2023年後期日程分)  
3月  
(2024年前期日程分)  
・内容  
横浜スタジアム(プロ野球ベースターズ戦) ペアチケット幹旋

・対象  
教職員  
・対象  
教職員とその家族  
(2) 親と子のふれあいカルチャ―教室  
・時期  
7月下旬  
・場所  
相模原教育会館

・対象  
一般  
(2) 教育文化講演会  
・時期  
2月上旬  
・場所  
相模原教育会館

・内容  
理科実験教室  
・対象  
教職員とその家族、小・中学生  
(3) 歴史・文化散歩  
・時期  
9月中旬  
・場所  
未定

・内容  
文化・教養の向上に資するもの  
(3) 「教育会館だより」の発行  
・時期  
年1回  
・内容  
実施事業の報告およびPR

・内容  
歴史や文化、由緒ある場所などの見学  
・対象  
退職教職員  
(4) 湘北教職員体育大会  
・時期  
10月  
・場所  
湘北地区内会場

・対象  
一般  
2. 教職員福利厚生事業  
(1) スポーツ観戦チケット幹旋  
・時期  
5月

・内容  
物資販売の幹旋案内  
・対象  
教職員  
3. 教育会館運営及び生命共済事業等  
(5) 人権・解放教育研修会  
・時期  
6月16日(金)、

1月24日(水)  
(2回開催)

・場所  
相模原教育会館  
・内容  
人権課題に対する意識理解を深めるための研修会  
(6) 学習交流会  
・対象  
教職員  
・時期  
10月下旬  
・場所  
相模原教育会館

・内容  
学校現場の教育課題についての話し合い  
・対象  
教職員、退職教職員  
(7) 教育・教養研修会  
・時期  
1月  
・場所  
相模原教育会館

・内容  
教育課題に関する研修会  
・対象  
教職員  
(8) 退職教職員税務説明会  
・時期  
2月上旬(休日)  
・場所  
相模原教育会館

・内容  
確定申告に関する説明  
・対象  
2022年度退職教職員  
(9) 物資幹旋  
・時期  
随時  
・場所  
各学校・各教職員より申し込み

・内容  
物資販売の幹旋案内  
・対象  
教職員

(1) 会議室の貸室  
・時期  
通年  
・内容  
教育会館内会議室の貸出案内・調整、施設整備等

・対象  
各構成団体、一般  
(2) 湘北教職員生命共済  
・時期  
7月下旬～9月中旬  
(説明会・加入手続き)  
2月

・内容  
2024年度(第38期)更新推進事業、新規・継続加入説明・通知等  
・対象  
教職員  
(保障制度開始)

